

岡山県地域医療支援センター運営委員会 平成28年度第2回会議 議事要旨

- 1 日 時 平成29年2月14日（火）15:00～16:30
- 2 場 所 岡山県医師会館 4階 第2会議室（岡山市北区駅元町19-2）
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題
 - (1) 岡山県地域医療支援センターの運営状況について
- 5 議事要旨
 - (1) 岡山県地域医療支援センターの運営状況について
事務局から平成28年度事業実施状況及び平成29年度事業計画について説明があり、承認された。
なお、委員からは次のような意見があった。
 - ・ 地域卒卒業医師の配置希望病院の「新専門医制度への取組状況」の評価では、配置先を医師不足地域の病院の中から選定するので、配置希望病院が専門研修施設群に参加していれば、高いスコアを付けてもよいのではないかと思う。
 - ・ 地域卒卒業医師の配置希望病院が提示する年収は1千万円と高いが、地域の病院に多くの人数を受け入れる余地が本当にあるのかという問題があると思う。
 - ・ 自治医科大学卒業医師については、県北のへき地医療拠点病院に配置するという方針があるが、地域卒卒業医師については、将来的に県南の医師不足地域の病院も配置対象になることを期待している。
 - ・ 地域卒卒業医師を県北に優先配置することに異存はないが、県南でも医師確保に苦勞しているところは将来の配置に期待していることを県に伝えた方がよい。
 - ・ 4月に行われる「地域医療に関する取組調査（市町村）」は、地域卒卒業医師の配置病院の選定に関わることなので、依頼文書は担当課長あてではなく首長あてに出してもらいたい。
 - ・ 病院経営はここ1、2年非常に厳しい。そうした中で、地域の病院がそれぞれ医師不足を訴えるだけでなく、地域の病院の経営者が覚悟を持って、地域の責任を共同で果たしていくような、持続可能な医療提供体制づくりを進めていく必要もあると思う。
 - ・ 2月7日（火）の指導医講習会（主催：岡山大学大学院地域医療人材育成講座）において金沢医科大学の高村昭輝先生の講演「地域基盤型医学教育」があり、非常に感銘を受けた。高村昭輝先生を「地域医療

を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」の講師として今後検討してもらいたい。

- 地域卒業医師の配置希望病院の「地域の医師不足」を、市町村の総生産と常勤換算医師数との関係で評価しているが、働けない高齢者の多い地域は、総生産は低いですが、医療ニーズは高いのではないかと。人口構成や高齢化を評価した方が、本来の医療ニーズに近いと思う。
- 地域卒業医師の配置希望病院の「地域の医師不足」を、市町村の人口と常勤換算医師数との関係で評価しているが、この関係は医師の集まりにくい地域があるという現状の相関であると思う。その現状を解消するために地域卒業医師を地域に配置するので、人口 10 万人当たりの医師数が非常に少ない市町村には別途スコアを加算することが必要であると思う。

岡山県地域医療支援センター運営委員会 平成28年度第2回会議 出席者名簿

区分	所属	役職等	氏名	備考
大学	岡山大学病院	病院長	榎野 博史	欠席
	川崎医科大学附属病院	病院長	園尾 博司	欠席
医師会等	公益社団法人 岡山県医師会	会長	石川 紘	会長
	一般社団法人 岡山県病院協会	副会長	山本 和秀	
関係機関	岡山県へき地医療支援会議	前会長	谷本 光音	副会長・欠席
	岡山県へき地医療支援機構	専任担当 医師	塩出 純二	
	認定特定非営利活動法人 岡山医師研修支援機構	副理事長	金田 道弘	
寄付講座	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座	教授	片岡 仁美	
		教授	佐藤 勝	
市町村	岡山県市長会	井原市長	瀧本 豊文	(代理)岡山県市長会 事務局次長 角田篤司
	岡山県町村会	矢掛町長	山野 通彦	
保健所	岡山県保健所長会	備前保健 所長	二宮 忠矢	
有識者	帝人ナカシマメディカル 株式会社	代表取締役 役会長	中島 義雄	

(委員数：13人、委員任期：平成30年8月31日まで)

事務局	岡山県地域医療支援センター	センター長	糸島 達也	
		専任担当 医師	岩瀬 敏秀	岡山大学支部
		センター 事務員	下山みどり	
		センター 事務員	秋田 政子	
	岡山県保健福祉部	部長	荒木 裕人	
	岡山県保健福祉部医療推進課 (地域医療体制整備班)	課長	則安 俊昭	
		副課長	清水 浩史	
		総括参事	塩飽 聡	
		副参事	平田 英俊	
		主任	塚原 政俊	